

社が県の立合いのもとに泗水町と企業進出の調印を行いました。

半導体の生産には高真空技術が必要としますが、この技術を生かして日本真空技術はアルミ蒸着装置やイオン注入装置で国内首位の座を占めています。

このグループ企業として今回進出するアルバック九州サービス株式会社熊本工場では、半導体関連機器や部品の生産とメンテナンスサービスを行うことになっていきます。

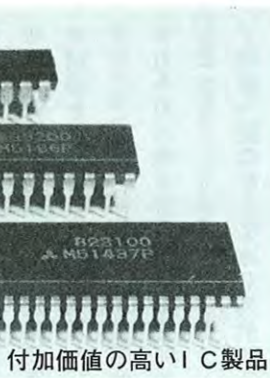
いわがりの企業誘致

最近消費者の「もの」離れが進んでいます。たとえば、冷蔵庫、洗濯機、カラーテレビなどの家電製品は九パーセント近い普及率で、現在ではほとんど各家庭に回っています。

このように経済が成熟すると消費のソフト化が進んでいきます。「も

の」中心であったものが、「生きがい」などの精神的な充実感を求めるようになってきます。

「もの」の一巡や生活の合理化で生じた余裕、時間が婦人のための各種の教養、文化、スポーツ教室などに使われ始めています。



付加価値の高いIC製品

みんなが「もの」(ハード)ではなく、「サービス」(ソフト)を買うようになった訳です。

このような消費構造の変化は、私たちに将来の成長産業を予測させてくれます。

企業誘致に当たっても公害のないクリーンな企業であることはもちろんですが、既に動き出した産業構造の変化に着目すれば、将来にわたって本県経済の発展に役立つ企業を選ばなければなりません。今後成長が期待できる産業として、④ エレクトロニクスをはじめ、光通信、新素材、生命工学などの新しい技術革新によるグループを挙げるができます。

例えば、産業用ロボット、VTR、ファクシミリ、光通信システム、オフィスオートメーションなどの情報関係などがそれです。

④ 生活水準の向上から「もの」離れ「ソフト商品」指向が強まり、耐久消費材の一巡もあって、知識各種サービス、スポーツ、旅行など、生活の質の向上をめざすもの

四、親企業の設計変更や新しい部品の仕様に対して早急な対応ができること。
など厳しい条件を克服しなければなりません。
幸い、地元が強力なパートナーを育てる必要にせまられた進出企

業の後押しと、人一倍向上意欲に富んだ企業の結びつきで、立派に近代的な企業に成長した地元企業をみる事ができるようになりました。

例えば、クリーニング機械の部品などを作っていた鉄工所が、I

地元企業に活力を与える進出企業

最近、地方への先端技術などの分散集積が図られるようになったために、進出企業を支えるすぐれた技術をもつ地元企業の存在が必要となってきました。

大企業と関連した地元企業であるためには、

一、厳しい品質管理のもとで精度の高い製品が作れること。

二、量産に耐え、指定の日に指定の数量が納入できる近代的な生産設備が整備できること。

三、経営者が日進月歩の技術革新に意欲的であること。

工場見学で説明を受ける小学生



進出企業は地元へ溶け込もうと工場見学にも積極的に取り組んでいる。

生まれた言葉です。

「コンピュータは仕事をする場合、人間と異なり、一つの仕事を高速で、しかも誤りなくすることができ、計算して、書くということ一度にすることができません。仕事をいくつかの業務に分割して目的達成を図る必要があります。」

このように「コンピュータの能力に合った業務の分割、組立を行うことをシステム設計」といいます。又システム構造の解明、設計、構成の総称をシステムエンジニアリングといい、工場新設などの場合、工学上の問題、立地、工程管理、労働などを現在から将来にわたって総合的に検討するために利用されます。

※ソフトウェア

ハードウェアに対する言葉で、よく「利用技術」という意味に使われます。即ち、「コンピュータ(ハード)」を動かすために使用者の意

思であるプログラム(ソフト)を組み込んで機能させる利用技術のことです。「コンピュータも多目的な使用に耐える汎用型が増えるとともに「コストの七割を「ソフト」が占めるといわれるまでになっています。ソフトウェアは人間の頭脳の産物で、今後ますます需要がたかまることが予測されます。

※オフィスオートメーション

生産部門の機械化・合理化のソフトウェアオートメーションに対する言葉で、事務部門の機械化のことです。日本は、ロボットなどの投入で生産部門の機械化は欧米よりも進んでいるものの事務部門は遅れているといわれています。今後複写機、ファクシミリ、コンピュータ、ワードプロセッサ等の導入でオフィスオートメーションは一段と進むと思われます。